

第6回 松原・下釜・大山ダムとともに水害に 強い地域づくりを考える意見交換会

令和8年4月26日

緊急放流サイレン吹鳴訓練の報告

令和8年10月23日

筑後川ダム統合管理事務所

1. 令和8年の緊急放流サイレン吹鳴訓練における改善の取組

これまでのダムのサイレン等の吹鳴訓練において、次のような意見をいただいたことから、今年のダムのサイレン等の吹鳴訓練では、それらを改善する取組を実施

1. 緊急放流のサイレンの吹鳴について

- こういった訓練を繰り返し行うことで、住民の防災に対する意識が高まるのではないか。今後についても続けて頂きたい。（アンケート） など



継続的に松原ダム下流全域で吹鳴訓練を実施

2. 訓練の内容について

- 訓練には、関係機関が適切に参加しなければ、住民としては不安になる。県や市と連携する必要がある（訓練時意見交換） など



住民と国・県・市が連携した訓練を実施

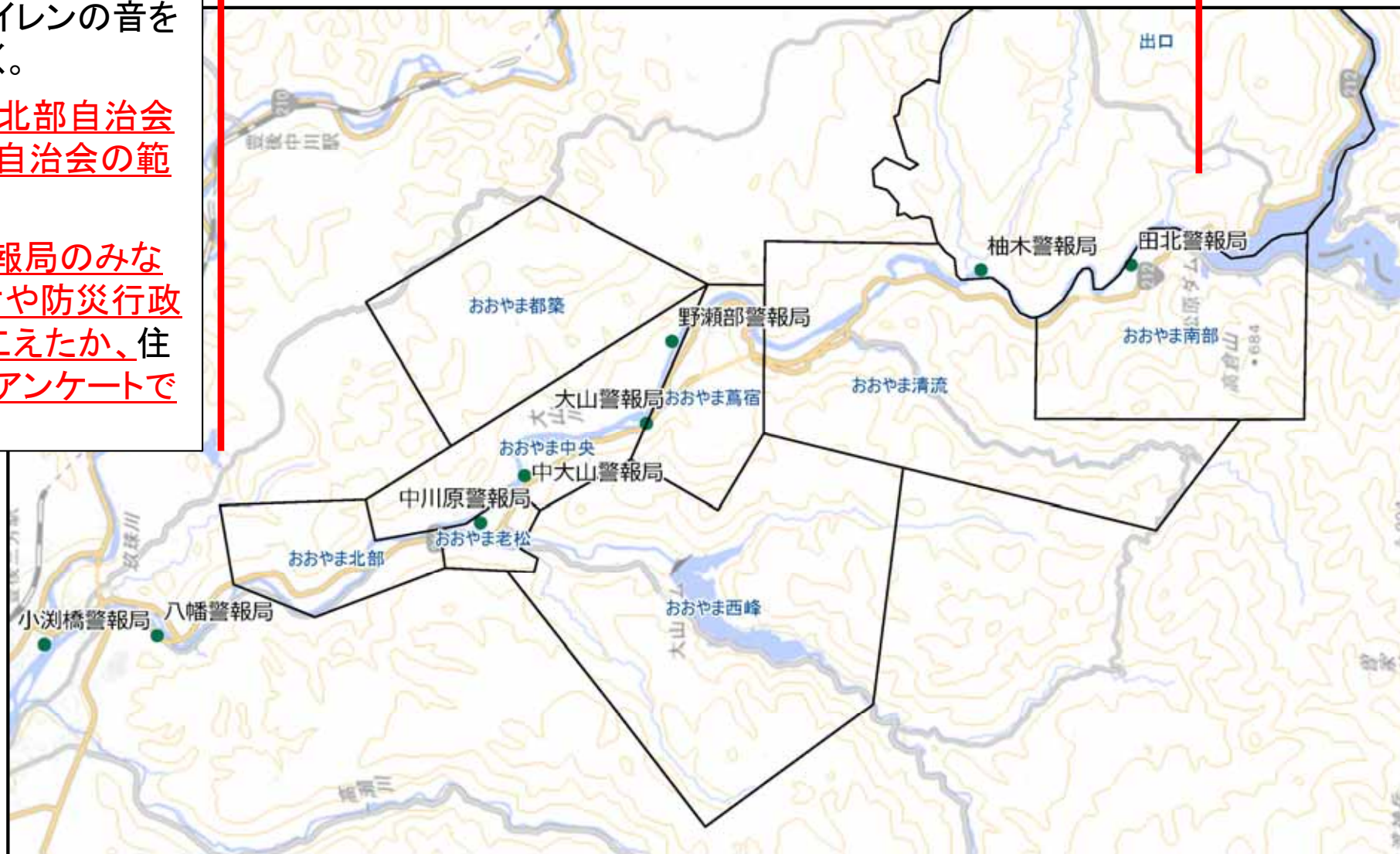
2. サイレン吹鳴訓練の目的

○これまでに緊急放流のサイレン等を一齐に放送したことがないため、ダム下流の住民の皆さまにサイレンの音を聞いていただく。

※今回はおおやま北部自治会～おおやま南部自治会の範囲を対象とした。

○サイレン等が警報局のみならず、防災ラジオや防災行政無線を通じて聞こえたか、住民の皆さんへのアンケートで確認する。

訓練対象区域



下図出典: 国土地理院HP

3. 緊急放流サイレン吹鳴訓練におけるアンケート等配布

サイレン吹鳴訓練に先立ち、事前に以下の資料を配布

- ・緊急放流の説明資料（P4）
- ・緊急放流時のサイレン等説明資料（P5）
- ・吹鳴試験のアンケート（P6～7）

アンケートを含めた事前配布は、おおやま8地区と出口地区を対象としています

【配布地区】

おおやま北部
おおやま西峰
おおやま清流

おおやま中央
おおやま都築
おおやま南部

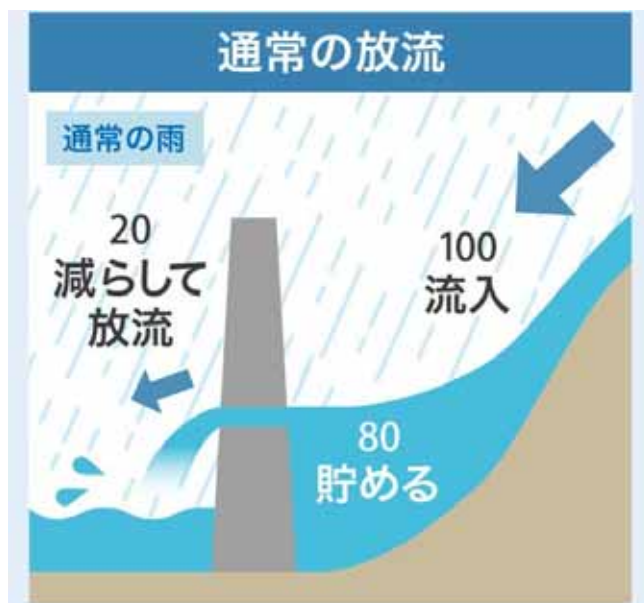
おおやま老松
おおやま鳥宿
出口

配布数は約1,100戸です。

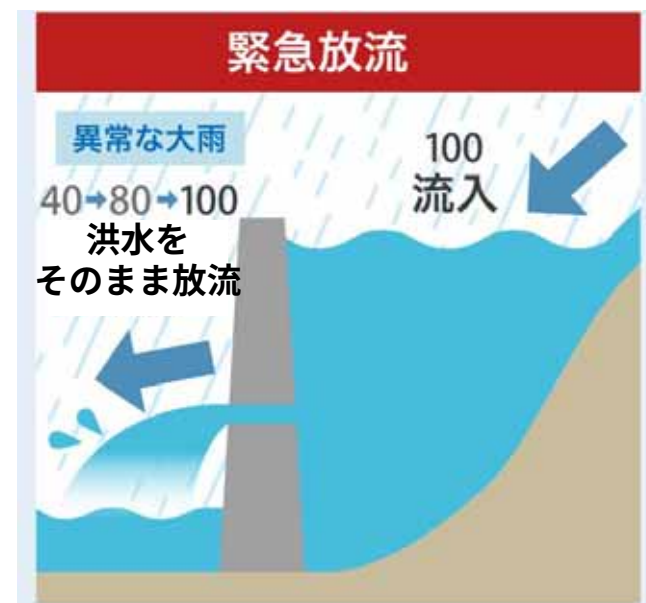
4. 緊急放流 (異常洪水時防災操作) について

緊急放流とは？

ダムが満水に近づいたときに、ダムからの放流量をダムの流入量と同程度となるよう近づけていき、満水になったら流入量をそのまま下流側に通過させることです。



ダムに流入する洪水の一部を貯めて、減らした量を下流に放流



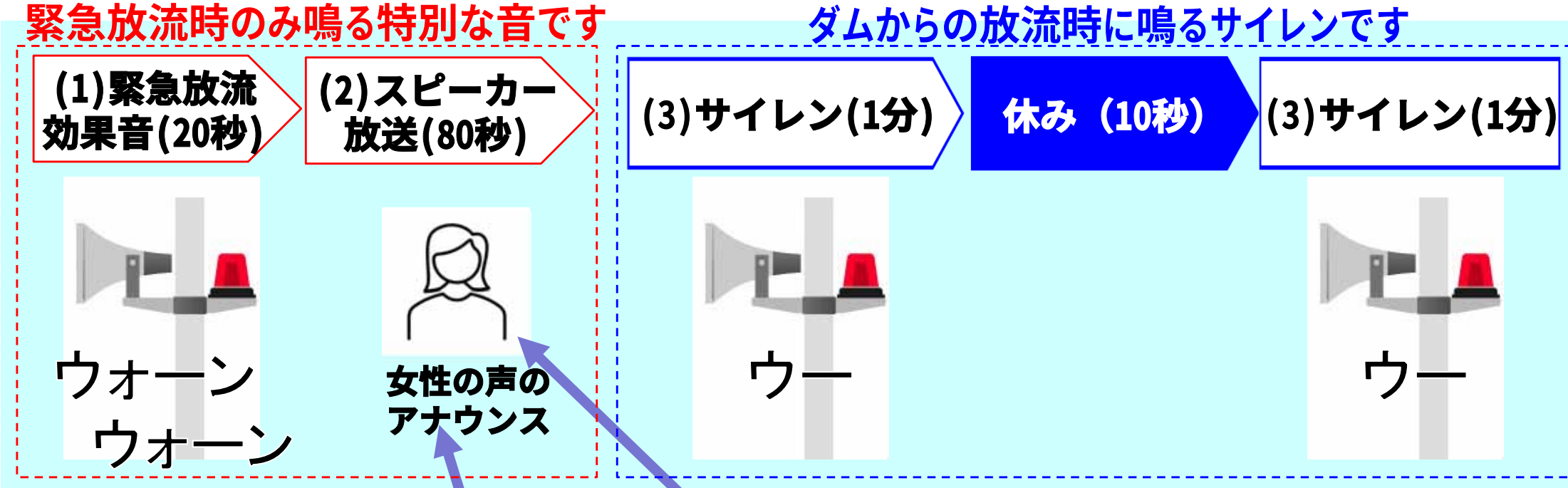
ダムに流入した洪水をそのまま下流に放流 (貯めた洪水を放流するわけではありません)

緊急放流時は、どうすれば良いのか？

ダムの下流の河川で水量が増えて、氾濫する危険性が非常に高まります。
自治体からの避難情報を確認し、適切な避難行動をとってください。

5. ダムからの緊急放流時のサイレン等について

- ダムから緊急放流する時には、特別なサイレン等が鳴ります
- 緊急放流の際は、3時間前と1時間前の2回、サイレン等を鳴らします。
ただし、降雨の状況によっては、緊急放流のお知らせが前後します。
 - その音は1種類だけではなく、(1)緊急放流効果音、(2)スピーカー放送、(3)サイレンの3つの音が順番に鳴ります。



<3時間前のスピーカー放送>
松原ダムよりお知らせします。これまでに経験のないような異常な洪水が発生しています。**今から約3時間後に、**川の水位が急上昇する見込みです。
ただちに命を守る行動をとってください。繰り返します。
(同じ内容で2回繰り返しアナウンス)

<1時間前のスピーカー放送>
松原ダムより緊急連絡をします。これまでに経験のないような異常な洪水が発生しており、川の水位が急上昇します。
ただちに命を守る行動をとってください。繰り返します。
(同じ内容で2回繰り返しアナウンス)

放送のデモ音声
はこちらから



5

6. アンケートの内容①

1. 緊急放流をご存知ですか。

- ①他人に説明できるくらいよく知っている ②放流量が増えることは知っている
③聞いた程度であり知らない ④全く知らない

2. 訓練のアナウンスは何を通して聞こえましたか。(複数回答可)

- ①警報局のスピーカー ②防災ラジオ ③防災行政無線
④聞こえなかったのでわからない
⑤その他 ()

※警報局のスピーカーとは、国交省で設置しているものでダム放流の際に吹鳴する施設です

3. ご家庭の防災ラジオについて教えてください。

- ①常時電源を入れている ②梅雨時期のみ電源を入れている ③電源を切っている
④その他 ()

6. アンケートの内容②

4. どのような状況で避難していますか？または避難すると思いますか？※裏面補足

- | | |
|------------------------------|------------|
| ①日田市からお住まいの地域で高齢者等避難が発令された場合 | [レベル3相当] |
| ②日田市からお住まいの地域で避難指示が発令された場合 | [レベル4相当] |
| ③松原ダムの緊急放流情報が入った場合 | [レベル4～5相当] |
| ④日田市からお住まいの地域に緊急安全確保が発令された場合 | [レベル5相当] |
| ⑤その他（　　　　　　　　　　　　　　　） | |

5. 避難するきっかけは何が想定されます？（複数回答可）

- ①市の防災情報（避難指示等） ②家族の声かけ ③ご近所からの声かけ
④緊急放流のサイレン ⑤防災行政無線 ⑥防災ラジオ ⑦テレビ ⑧SNS
⑨川の防災情報 ⑩防災アプリ ⑪その他（ ）

※問1～5に加えて、自由意見と、性別、年齢、お住いの場所についても質問

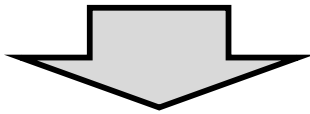
7. サイレン吹鳴訓練の流れ

時刻	内容	備考
8:40	訓練開始アナウンス	これから訓練を始める旨を周知
9:00	緊急放流サイレン開始(警報局)、 防災ラジオ放送、防災行政無線 等	緊急放流の3時間前の内容
9:30	山際・伝里公民館集合	
10:00	座学	地域のリスクを学習
10:20	タイムライン作成	
11:20	振り返りと意見交換、講評	
11:40	終了	

8. サイレン吹鳴訓練の状況 サイレン等の吹鳴

○各種媒体で3時間前の内容を吹鳴。

訓練開始アナウンス

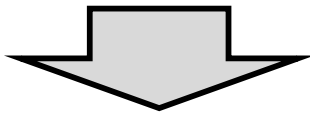


緊急放流サイレン開始(警報局)

< 3 時間前の内容 >

これは訓練です。国土交通省・松原ダムからの緊急連絡です。これまでに経験のないような異常な洪水が発生しています。**今から3時間後に**、松原ダムからの緊急放流により大山川の水位が急上昇する見込みです。ただちに命を守る行動をとってください。

(同じ内容で2回繰り返しアナウンス)



防災行政無線・防災ラジオ



▲警報局



▲防災行政無線



▲防災ラジオ(出典: 日田市HP) 9

8. サイレン吹鳴訓練の状況 サイレン等の吹鳴

- 午前9時頃にサイレンの吹鳴試験を実施
- サイレン終了後は、住民が伝里集落センター、山際集落センターへ集合

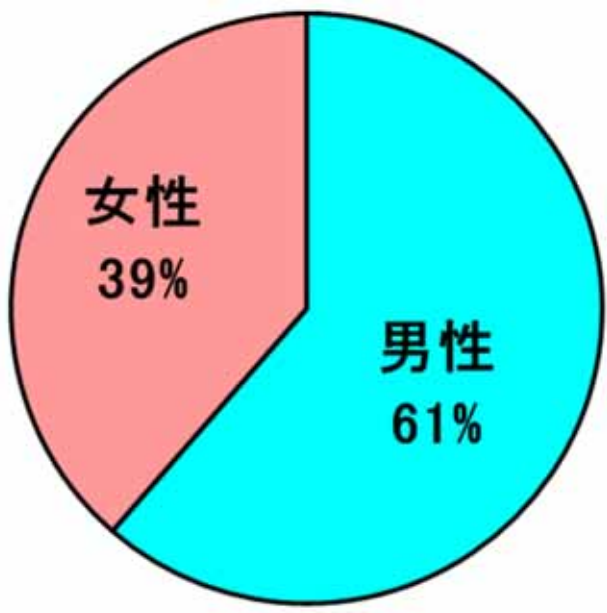


9. アンケート結果①

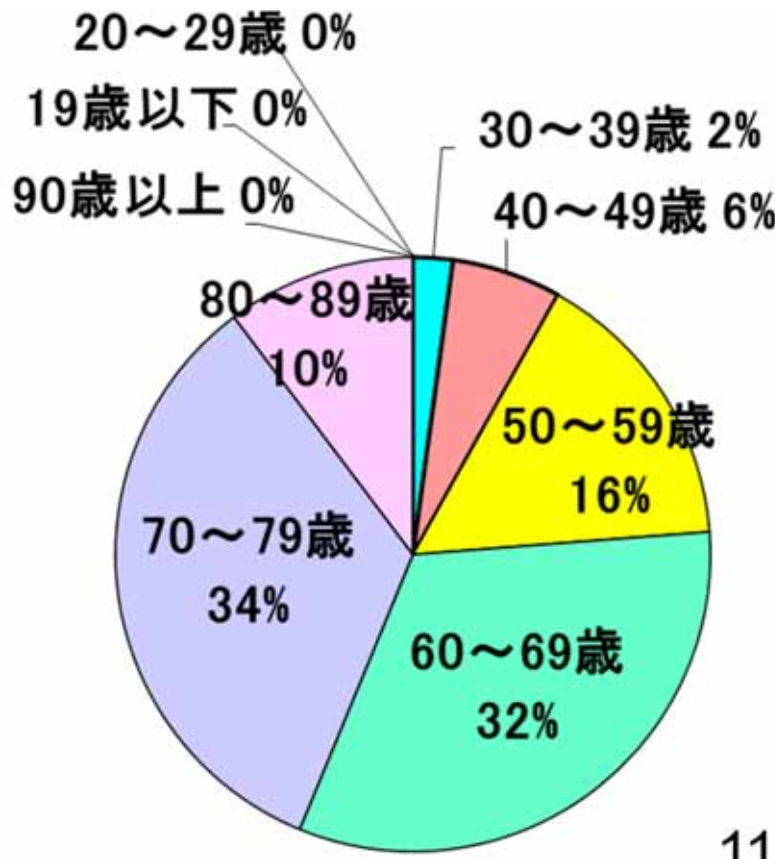
■アンケート回答者

- アンケート回答者は196名(196部/1,100部 約17%)
- 回答者の61%が男性、39%が女性
- 回答者の年齢は30代以上で、60代、70代で合わせて66%と多数。

性別	
男性	112人： 61 %
女性	71人： 39 %



年齢	
19歳以下	0人： 0%
20～29歳	0人： 0%
30～39歳	4人： 2%
40～49歳	11人： 6%
50～59歳	28人： 16%
60～69歳	59人： 32%
70～79歳	62人： 34%
80～89歳	19人： 10%
90歳以上	0人： 0%



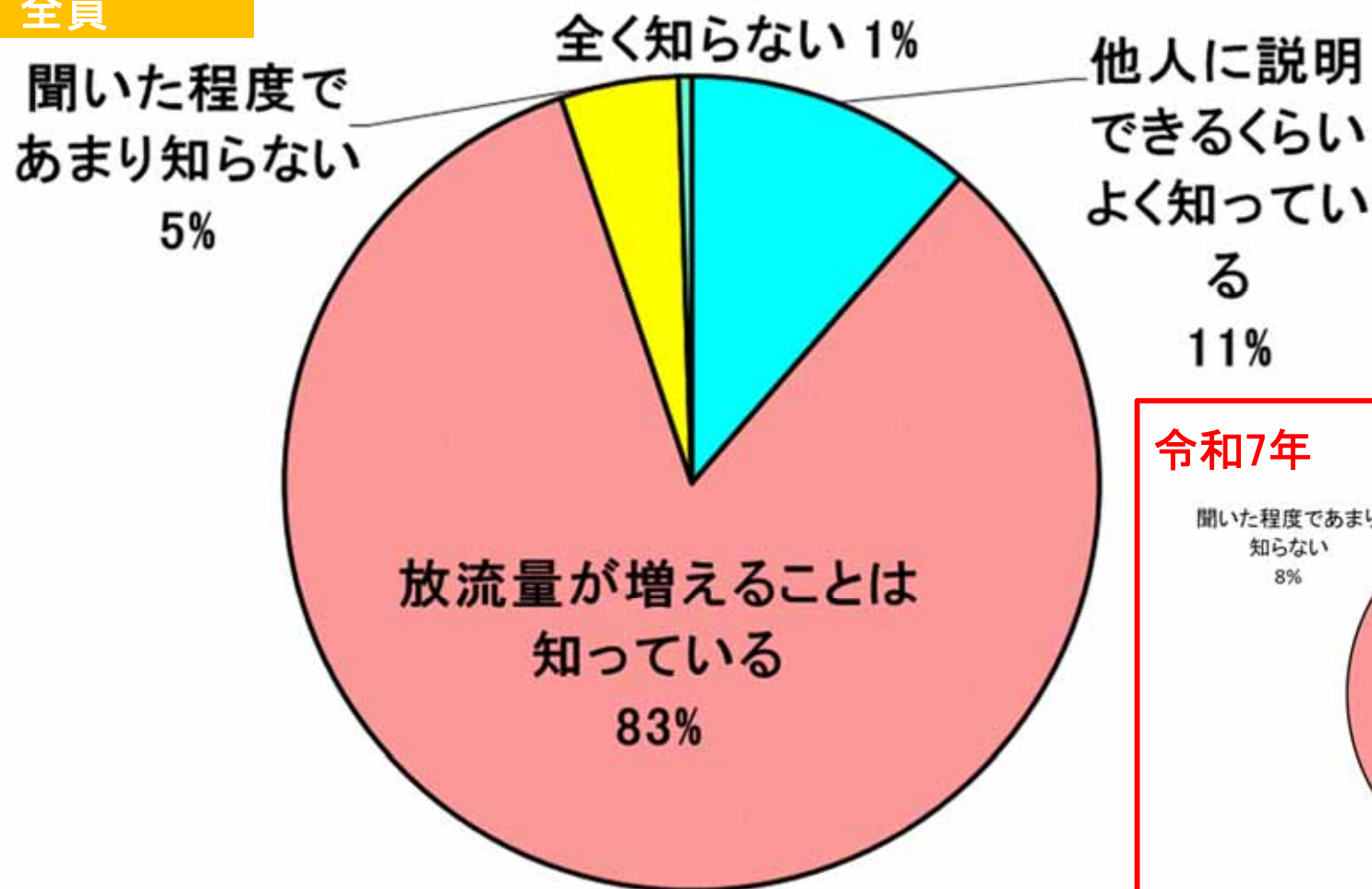
9. アンケート結果②

1. 緊急放流をご存知ですか。

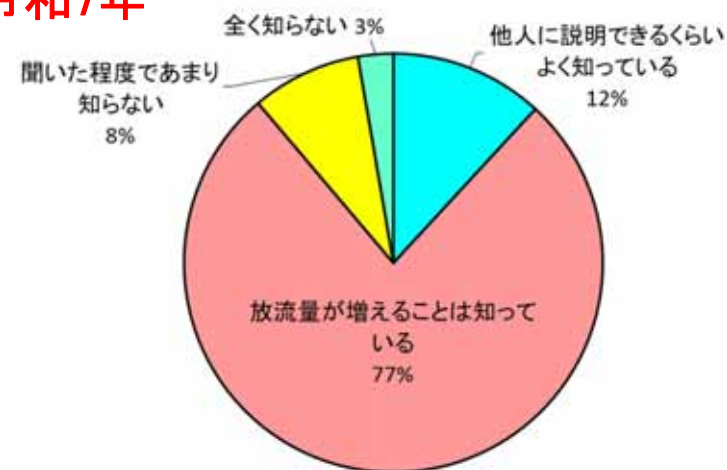
○緊急放流について、「放流量が増えることは知っている」が最も多く83%、「他人に説明できるくらいよく知っている」は11%

○令和7年と比較すると「聞いた程度であり知らない」は3%減の5%であり、周知の効果は出ていると考えられる。

全員



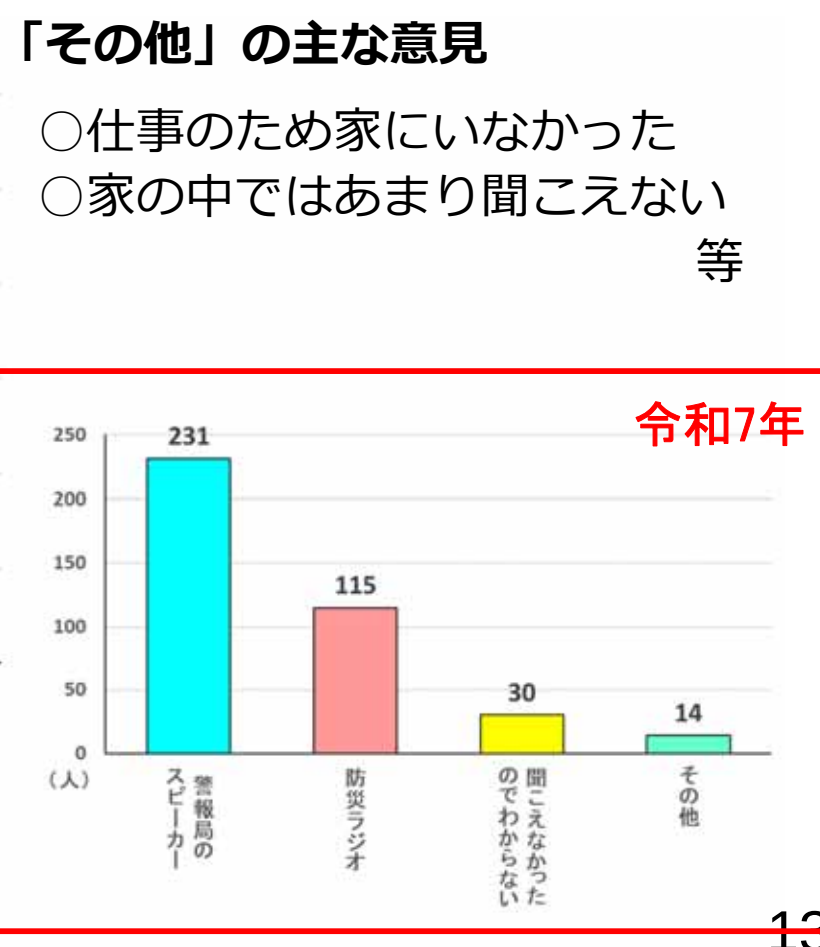
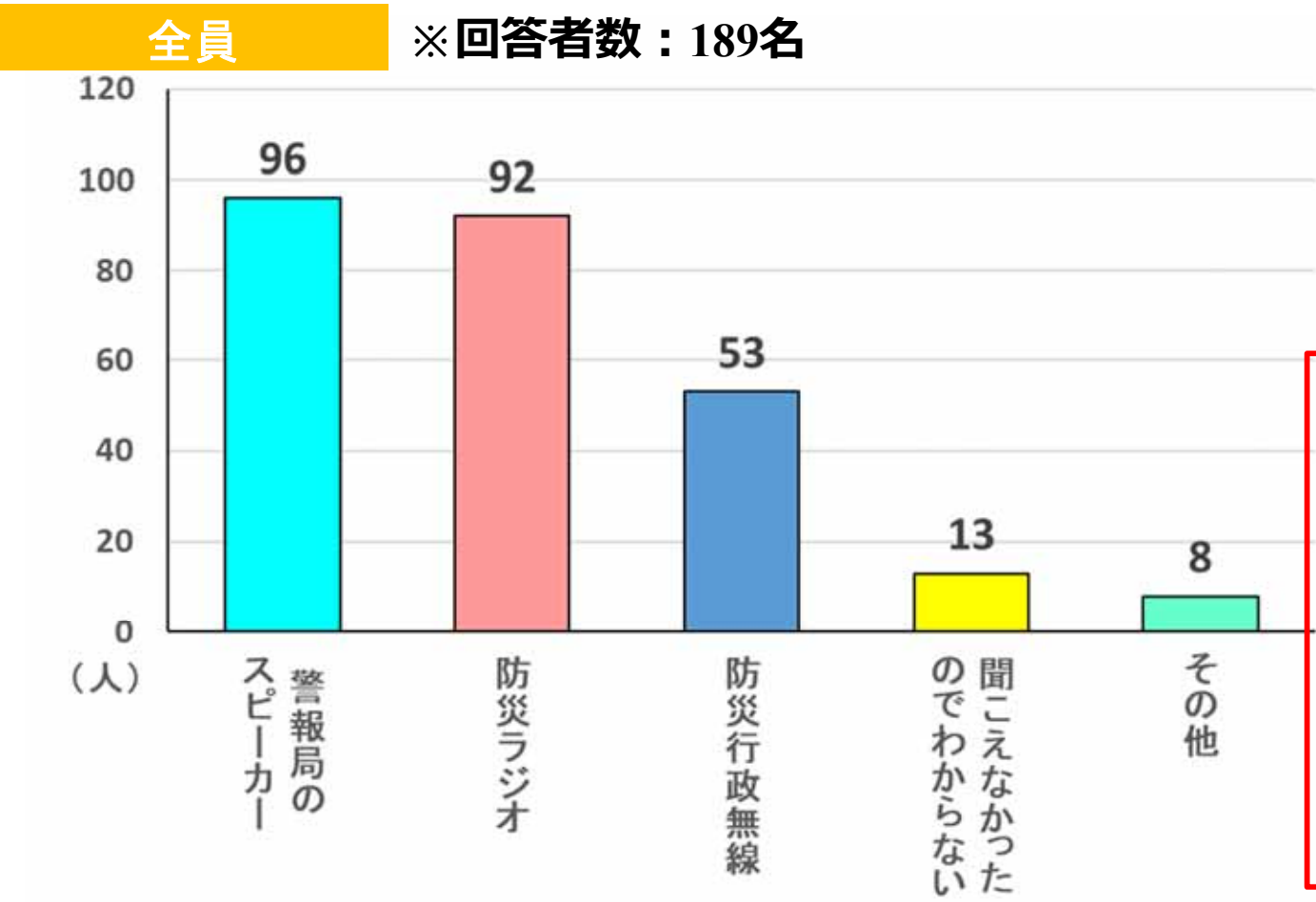
令和7年



9. アンケート結果③

2. 訓練のアナウンスは何を通じて聞こえましたか。(複数回答可)

- 「警報局のスピーカー」が最多で189名中96名が回答
- 「防災ラジオ」がほぼ同数で、92名が回答
- 「聞こえなかったのわからない」は、13名のみの回答
- 防災ラジオでも聞こえるという周知の効果が現れている。



9. アンケート結果④

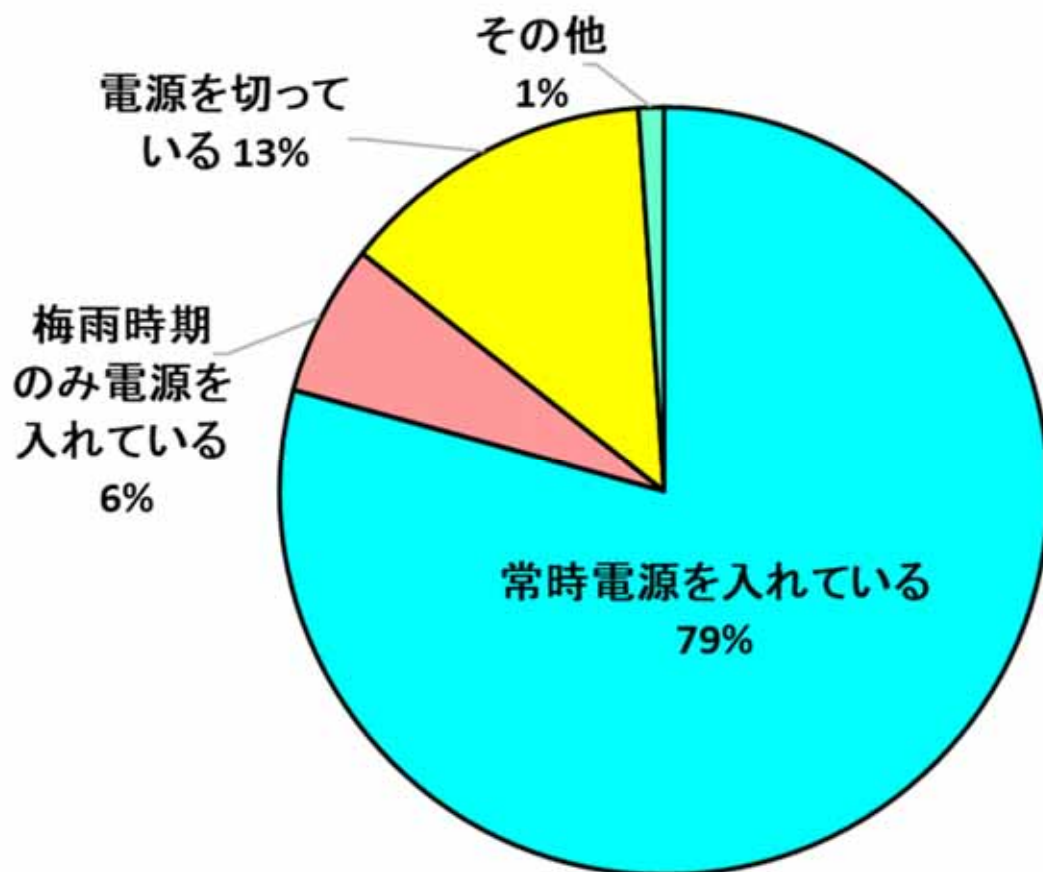
3. ご家庭の防災ラジオについて教えてください。

○防災ラジオについて、「常時電源を入れている」「梅雨時期のみ電源を入れている」は85%

○令和7年度と比較して、ほぼ同割合である。

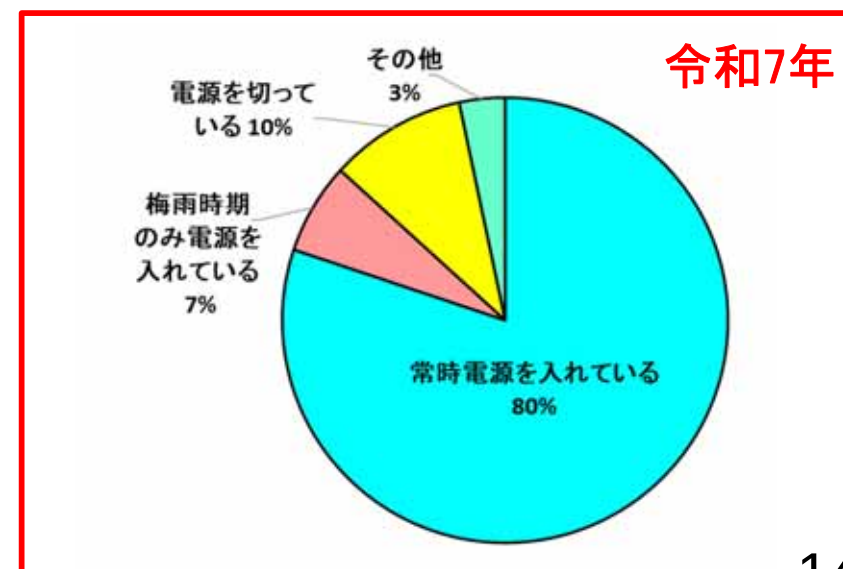
全員

※回答者数：188名



「④その他」の主な意見

- 電源を入れていたけど小さくしていた。
- 持っていない
- 防災ラジオはよく聞こえたが、アナウンスだけではなく、同時にサイレン警報も流せるようにしたら良いと思う。等

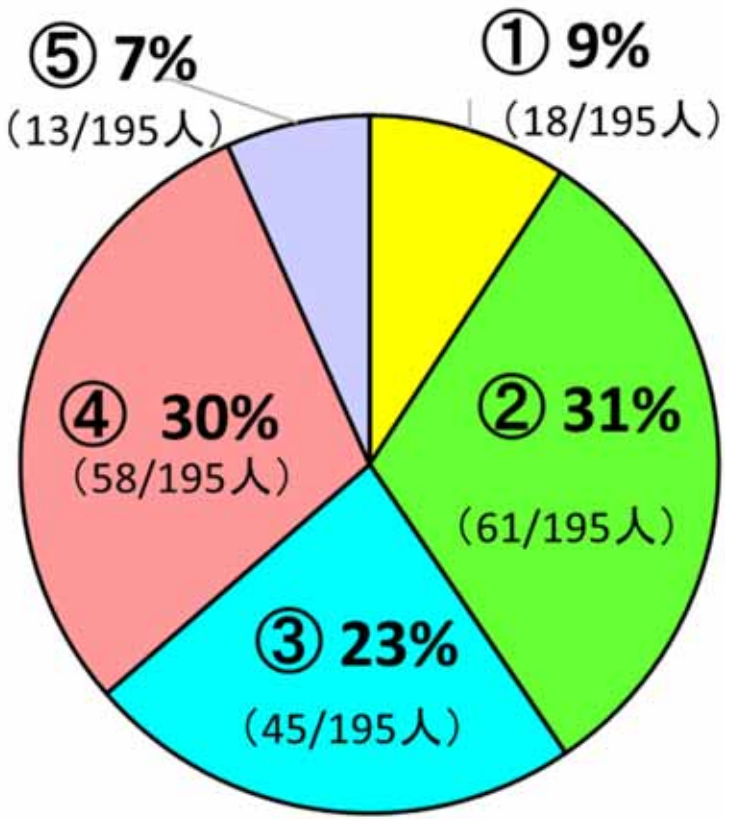


9. アンケート結果⑤

4. どのような状況で避難していますか？または避難すると思いますか？

○日田市からお住まいの地域で避難指示が発令された場合〔レベル4相当〕が最多で31%であった。
○令和7年から比較して、「その他」(※主に避難しない)や④日田市からお住まいの地域に緊急安全確保が発令された場合〔レベル5相当〕の割合が減少した。

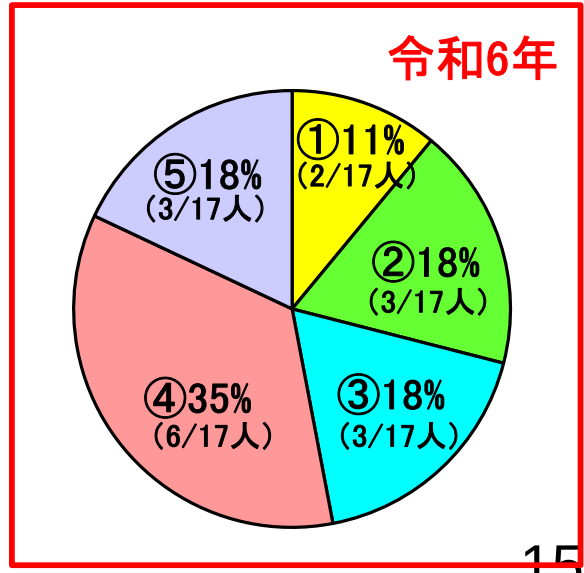
全員 ※回答者数：180名



「その他」の主な意見

- 居住地が高台にあり避難はしない。
- 避難しないと思う
- 避難所の場所や経路を考えると自宅の2階のほうがいいと思うので避難はしないと思う。
- 土砂災害の場合はレベル5、土砂災害以外の場合は自宅2階に待機 等

- ①日田市からお住まいの地域で高齢者等避難が発令された場合〔レベル3相当〕
- ②日田市からお住まいの地域で避難指示が発令された場合〔レベル4相当〕
- ③松原ダムの緊急放流情報が入った場合〔レベル4～5相当〕
- ④日田市からお住まいの地域に緊急安全確保が発令された場合〔レベル5相当〕
- ⑤その他



9. アンケート結果⑥

5. 避難するきっかけは何が想定されますか？（複数回答可）

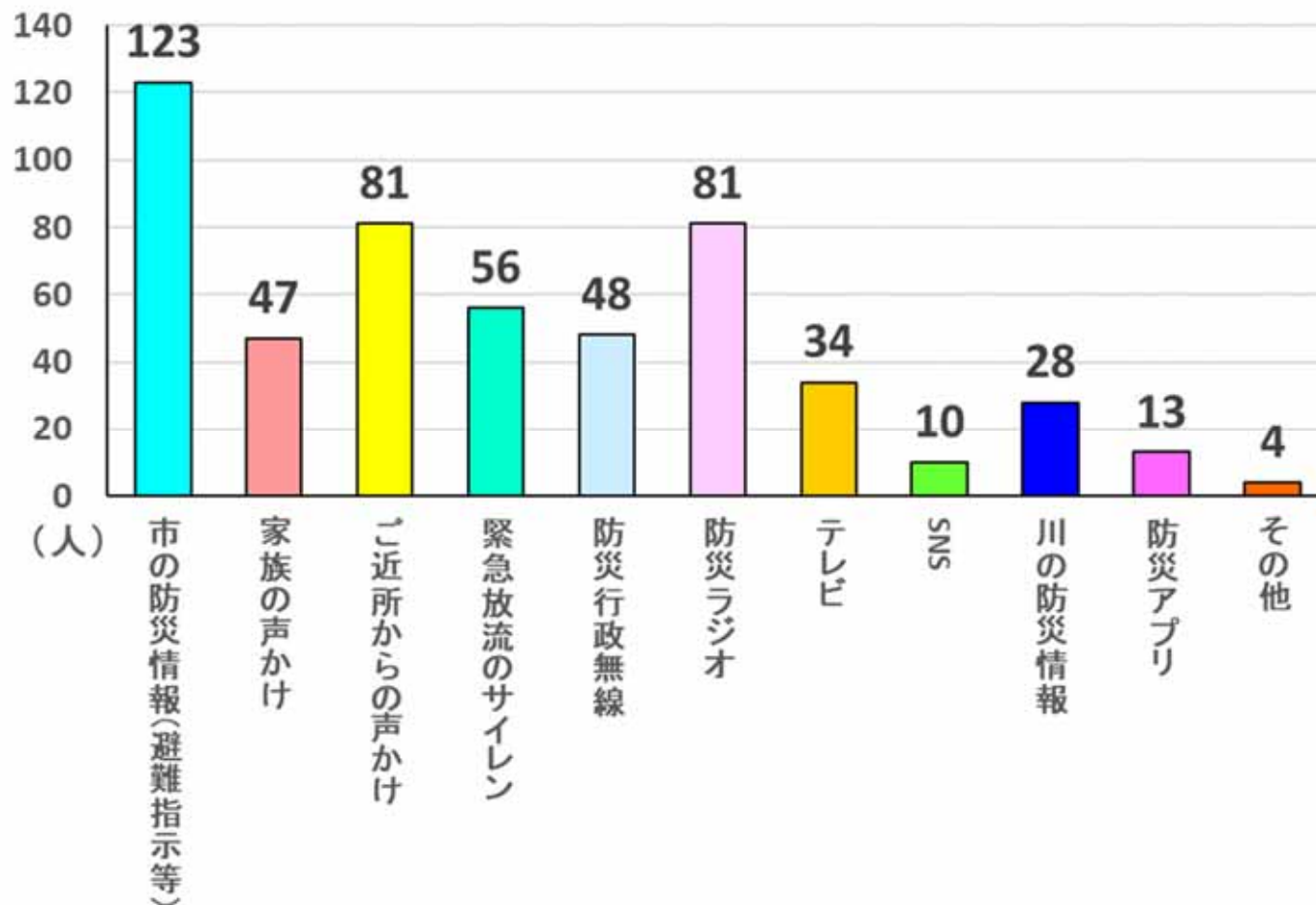
○「市の防災情報」が最多で190名中123名が回答

○「ご近所からの声かけ」と「防災ラジオ」は約半数の81名が回答

○「その他」は『谷の水の様子を見て』『気象情報』であった。

全員

※全回答数：190名



「その他」の主な意見

- 谷の水の様子を見て
- 気象情報、線状降水帯の位置など
- 気象情報 等

9. アンケート結果⑦

8. 自由意見(※主な意見を一部編集)

- 緊急放流により橋が沈み救急車がこれない。高齢者が多いので迂回路でもこれるか心配
- KCVで出している沈橋情報を見て判断できるので助かっています。
- 防災アプリや情報がわからないので情報をもっと知りたいです。
- いざ避難となると避難所に行くのは考えます。動物(ペット)を飼っていますので、他の方々にご迷惑をおかけする事になりますので、その点に付いて家の者とも話をしています。
- レベル4になって昼間だったら日田市街の親戚に避難します。夜だったら2階に行きます。夜だったら動きません。
- 市の避難所(大山公民館)は水害の場合は避難所には場所が不適であり利用出来ない。
- 高い所がない。避難する様な高い場所がない。
- 防災ラジオと警報局のスピーカーが同時に発信されると聞きづらい時がある
- 垂直避難(2階へ上がる)

10. アンケートから得られる成果

○訓練の成果

- ・緊急放流実施よりも前の段階で避難する方の割合が増えた。
- ・市の防災情報をきっかけとして避難を考える住民が多い。

○今後に向けて

- ・緊急放流の説明を継続的に実施し、緊急放流よりも早く避難する必要があることについて理解促進を進める。
- ・市の防災情報をきっかけとした早目の避難が根付き、更なる地域防災力向上にむけ、関係者（住民、国、県、市）が連携して取組を進める。